

# 葛塚地域の 公共施設の これからを考える オープンハウスへ ようこそ！



- 1.市の公共施設をめぐる課題
- 2.市の取り組み
- 3.葛塚地域の状況とプロセス
- 4.公共施設の将来のあり方（対策案）
- 5.今後のプロセス



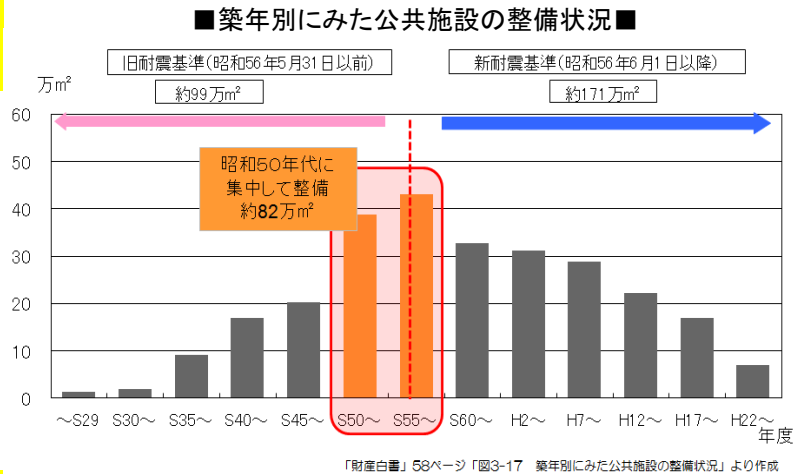
**パネルをご覧いただき、  
みなさんのご意見をお寄せください！**

オープンハウス：パネル展示型説明会

# 現在の公共施設は さまざまな課題に直面

## 老朽化する公共施設

現在使われている公共施設は、人口増加が著しかった昭和50年代に整備されたものが多く、老朽化による修繕や建て替えの時期が一斉に到来することが見込まれます。

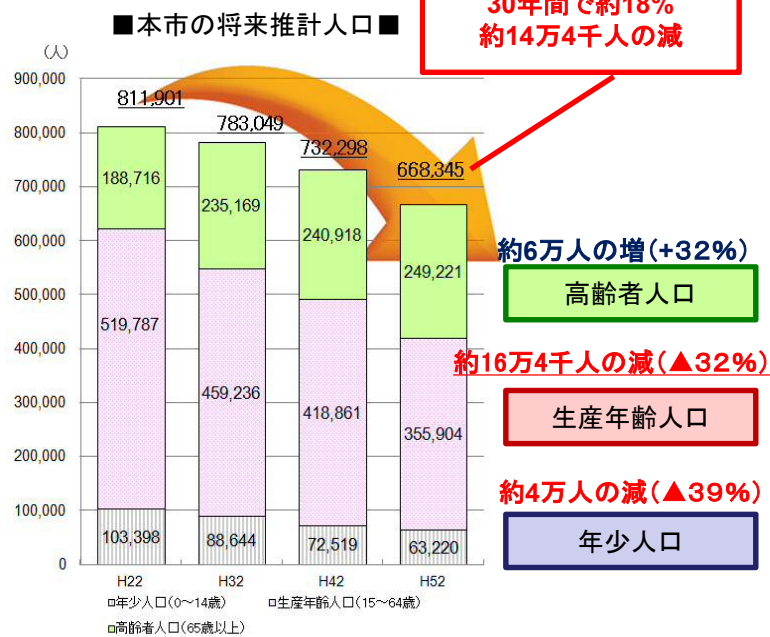


## 人口減少 (生産年齢人口の減少)

新潟市では、平成22年から平成52年までの30年間に、およそ14万4千人も人口減少が予測されています。

とりわけ、勤労世代である生産年齢人口(15歳から64歳)の減少が著しいため、将来の税収増加の見込みは厳しいものとなっています。

また、年少人口(15歳未満)も約4割減少するため、まちのありようの変化に伴い、公共施設に求められる機能も変わっていくことが予想されます。



## 今後不足が見込まれる公共施設の維持・更新費用

現在の公共施設を、たとえ長持ち(長寿命化)させたととしても、今後、修繕や建て替えなどの費用が不足することが予想されています。将来の税収増加の見込みが厳しいなかで、今ある施設の全てを今後も同じように維持することは難しい状況です。

■ 公共施設の将来更新費用と近年平均更新費用の比較 ■

シナリオ	今後50年間の必要額	年平均の必要額①	H17~24年平均額②	年平均不足額①-②
標準 建替周期60年	1兆2,233億円	245億円	121億円	▲124億円
長寿命化 建替周期80年	8,988億円	180億円		▲59億円

# 課題に対応するための 「財産経営推進計画」

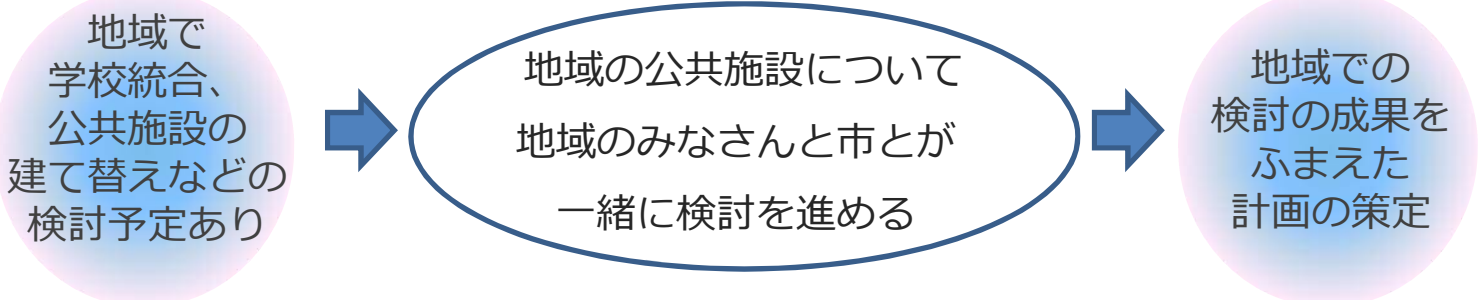
## 市：財産経営推進計画策定へ

市では、平成27年7月に、市の公共施設や道路、橋、上下水道などのインフラ資産について、今後の管理を安全かつ合理的に進めていくために、「新潟市財産経営推進計画」を策定しました。

財産経営とは、市有財産を効率的に管理・利活用する取り組みのことを指します。

## 地域別実行計画とは

財産経営推進計画では、公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」を、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域のみなさんと協働して作成することとしています。



新潟市財産経営推進計画

潟東地域実行計画

【背景】  
潟東地区  
平成27年  
れた成果を

(参考)

小学校統合をきっかけとして策定された、西蒲区潟東地域の実行計画

検討に着手し、  
状況などによ

公共施設の再編計画

【コンセプト】

潟東体育館をコミセンに転用し、中心部をコンパクトにまとめつつ地域活性化・多世代交流を図る

【概要】

- 潟東体育館を増築し、従来のスポーツ機能に加え、調理室などコミュニティ機能を複合し、コミセン化
- 改善センター跡地は、駐車場として整備
- 旧東小・西小は、地域の活性化に資するテーマを設定し、売却または貸付（民間活用）
- 旧小学校を民間活用する際は、一時遊離場所とすることを条件（旧西小・南小は短期滞在も条件）
- 旧南小の活用方法は、引き続き検討

【効果】

- 潟東体育館に施設が集約されコミセン化するともに、駐車場も拡充されることで、中心性、拠点性、祭り時の使い勝手が向上し、賑わいや多世代交流が期待
- 学校跡地の民間活用による地域の活性化が期待
- 施設総量が軽減され、将来世代の負担軽減

注）コミセン：コミュニティセンターの略称



再編スケジュール

※見直しにより変更となる場合があります

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
潟東体育館	存続			改修・増築工事		コミセンとして利用
農村環境改善センター	廃止		体育館への集約化に向けた構想・設計			廃止 除却し駐車場として整備
生活体験館	廃止			廃止に向け準備		廃止 売却・貸付
潟東ゆう学館	存続			専業の機能受け入れに向けた整理・調整・検討		ゆう学館として存続
生きがいルーム寿楽	廃止			機能移転に向けた準備	廃止に向け準備	廃止 売却・貸付
ゲートボール場	廃止				体育館構内に整備	
潟東小学校	新設		敷地内への新設小整備に向けた設計		工事	新設小利用開始 ひまわり複合化
潟東中学校	存続					
旧東小学校	廃止		民間活用に向けた準備			農業をテーマとした民間活用 (一時遊離場所とする協定締結)
旧西小学校	廃止		民間活用に向けた準備			スポーツをテーマとした民間活用 (一時遊離場所・短期遊離所とする協定締結)
旧南小学校	検討			潟東小学校として利用 活用方法継続検討		検討内容を実施
ひまわりクラブ	廃止			存続		廃止 売却・貸付
潟東出張所	存続		健康センターの機能受け入れに向けた準備		改修工事	出張所として存続 健康センター複合化
健康センター・デイサービスセンター	移譲			民間移譲を検討		民間移譲
美術館・資料館・物産館	存続			運営方法について検討		検討内容を実施
給食センター	存続					存続

【今後の進め方】

詳細な検討を行う中で、必要な機能を確認し、機能の維持に努めます。跡地については、民間事業者の意向調査を実施するなど可能性を把握します。また、事業者の選定にあたっての条件整理は、地域のみなさんとの協働で行い、将来像が分かるように進めます。

# 「地域別実行計画」 検討の進め方

## 検討を始めたきっかけ

葛塚地域では、北区役所の移転改築が予定されています。区役所新庁舎の整備位置は、現在の北区文化会館や豊栄地区公民館などが建っているエリアに整備されます。また、平成30年4月に太田小学校が葛塚東小学校に編入統合されます。これらに伴い、現在の区役所庁舎跡地、太田小学校跡地が生じることになります。

これらをきっかけとして、葛塚地域全体の公共施設の今後のあり方を示す「地域別実行計画」の策定に向けた市民と行政の協働による取り組みを開始しました。

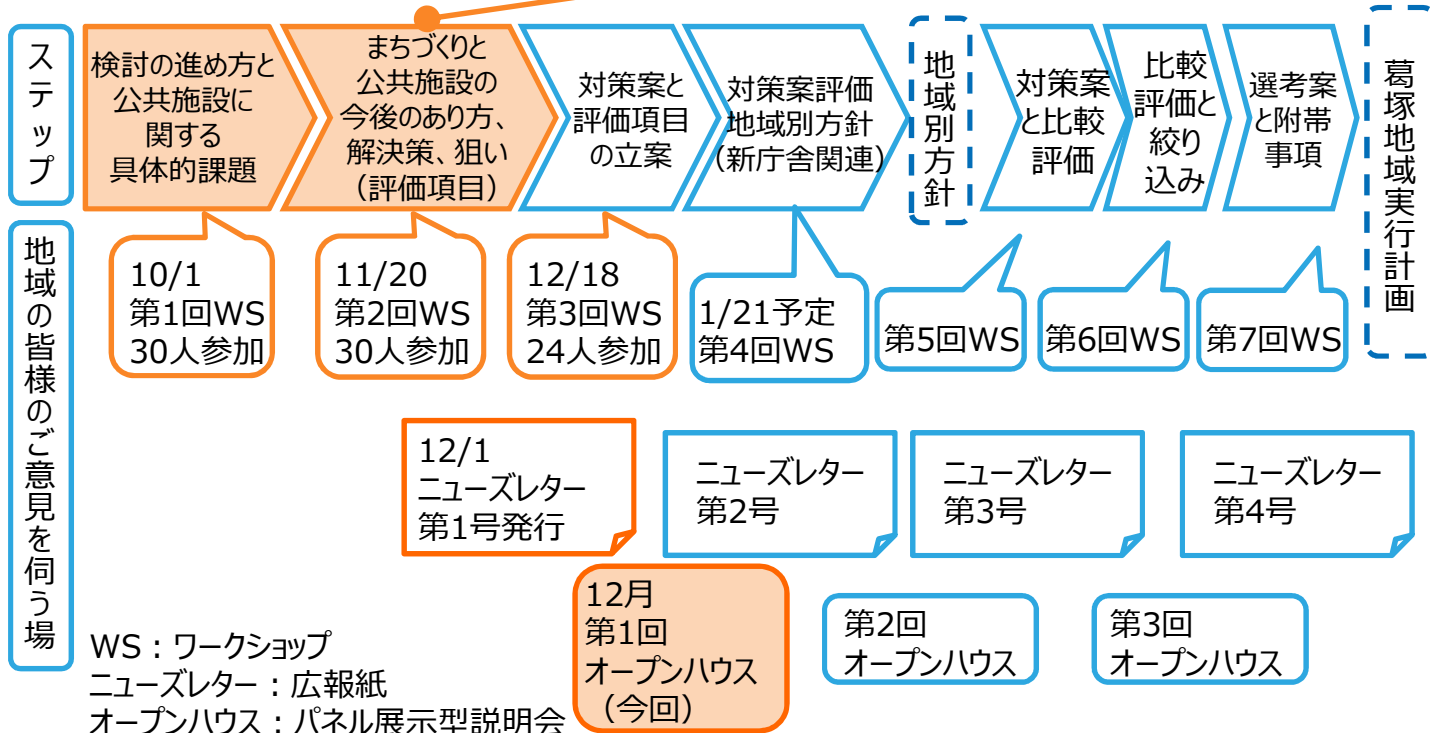
## 今後の進め方（葛塚地域の場合）

新潟市は、下図に示したステップに分けて検討を行い、「地域別実行計画」を策定します。

ステップに合わせ、さまざまな方法で広く地域のみなさんのご意見を伺い、検討に反映します。

市の検討のステップ（上段）と、  
地域の皆様のご意見を伺う場（下段）

現在、ここまで進んでいます！

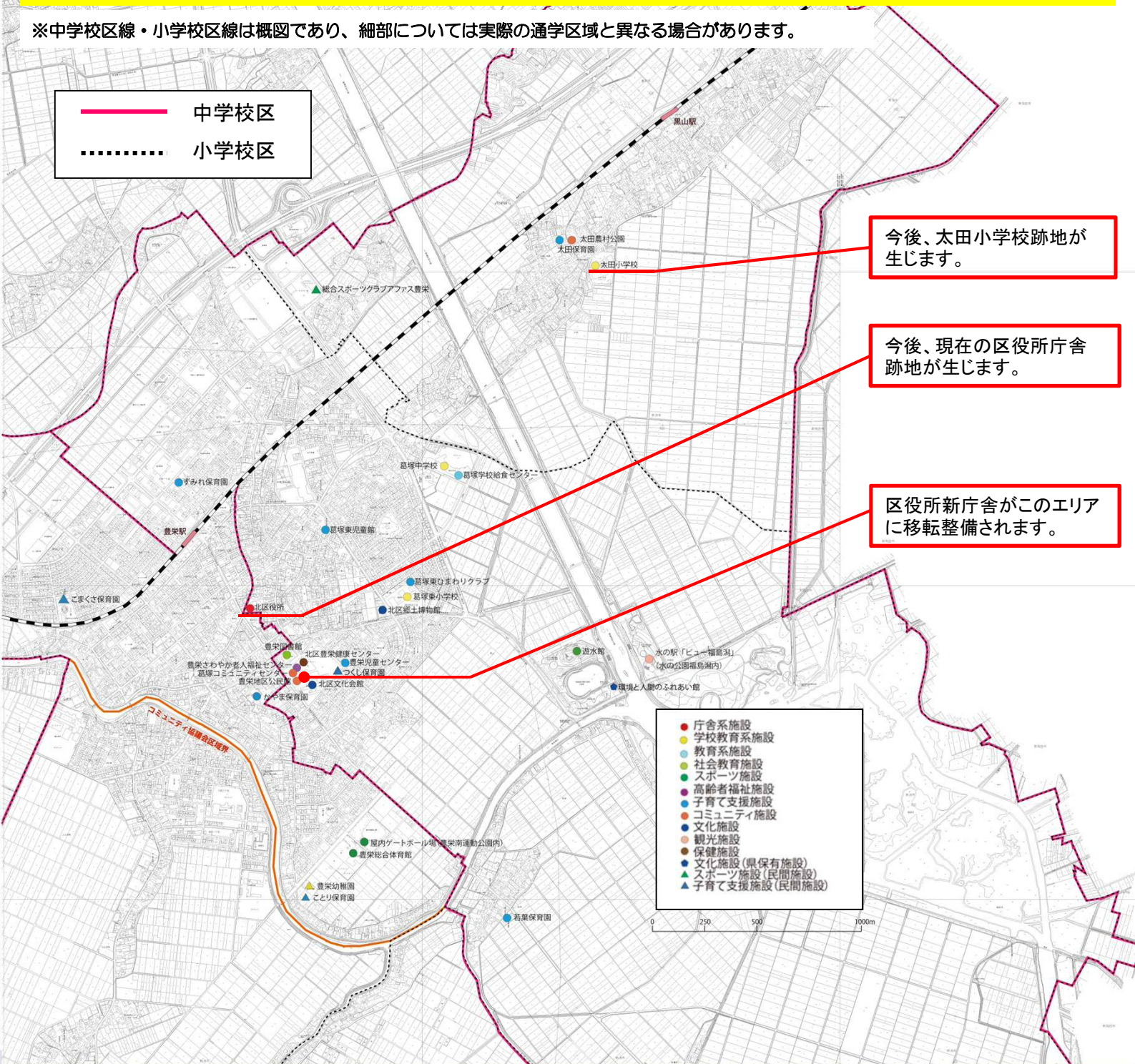




# 葛塚地域の 公共施設の状況は…

- 北区役所新庁舎の整備が予定されています。
- 太田小学校が葛塚東小学校に編入統合されます。
- 現区役所跡地と太田小跡地の活用が課題です。
- 様々な種類の施設が存在しています。

※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。



葛塚中学校区及び葛塚小学校区の一部  
(地域コミュニティ葛塚連合(葛塚東小学校区、太田地域)、葛塚中央)



## 公共施設についての地域の意見は…（1）

### いろいろな課題が指摘されています

#### 公共施設の現状の課題

##### <地区内の施設バランス>

- ・ 駅北は、病院や民間の施設は充実しているものの、公共施設が少ないので、子育てや災害時の避難場所の不足が心配だ。高齢者の避難や今後のまちの発展を見越して、もっと公共施設を充実させてほしい。
- ・ 葛塚東小学校区には児童センターや児童館があるが、葛塚小学校区にはないなど、小学校区ごとに公共施設の整備の状況にばらつきがある。太田地区、葛塚中心部、中心以外の地区、駅北地区を比べても公共施設のバランスも悪いので、地区ごとに課題の認識が異なる。

##### <施設までのアクセス>

- ・ 文化会館や公民館、図書館などの公共施設がまとまっているといっぺんに用事が済ませられるので便利な反面、住んでいる場所によってはアクセスが悪くなり利用しづらくなるのではないか。
- ・ 徒歩で行ける範囲にスポーツ施設など気分転換できる場所がないので、年を取って車が使えなくなると、気晴らしすることも難しくなるのではと心配だ。
- ・ 公共施設の多くは車以外でのアクセスがしづらく、車のない学生や運転できない高齢者などは不便を感じているので、公共交通の充足を図ってほしい。

##### <利用率>

- ・ 眺望の良いビュー福島潟や立派な調理施設など、せっかく良い施設があるのに十分に使われておらずもったいない。
- ・ 地域の公共施設についての情報が伝わってこないのでは、一部の興味のある人しか利用していないのでは。施設の利用料金や利用方法など情報が入ってこないし、イベント情報も目に留まりにくいので、身近に感じられず利用しない。もっと情報発信を工夫する必要がある。
- ・ 文化会館や郷土博物館は魅力的な企画がないから利用率が低いのではないか。活性化するような企画を打ってほしい。
- ・ 公共施設の利用料金が安くなれば利用率も上がるのでは。また、似たような機能を持つ施設の利用料金に差があるから利用率にも偏りが生じるのでは。

##### <運営方法・使い勝手>

- ・ 平日仕事をしている人や共働き家庭にとっても使いやすくなるように、開館時間帯や休館日を設定してほしい。
- ・ 公共施設は全体的に建物が薄暗いので、若い世代が利用したいと思わないのでは。
- ・ 葛塚中学校は、コミュニティセンターとの複合施設だったが、バリアフリーでないことや迷路のようで分かりにくい作り、音が反響するなどの問題があるので、複合施設には使いにくいというイメージがある。
- ・ 外観は変わらないのに名称だけが変わり、名前だけではどの施設を指しているのかわからない施設もある。情報提供不足による認識の低さが使われない一因では。

##### <子育て支援>

- ・ 保育園の空きがなくて入れない場合や、別地区の保育園や兄弟姉妹で別々の保育園に通っている場合もあるなど、保育園が足りない状況を改善してほしい。

- ・ 保育園や学童の施設の老朽化が進んでいる。スペースが狭いことや、トイレや部屋が全体的に暗いこと、小学校と学童保育が離れていて利用しづらいことなどの問題があるので、安心安全で快適に利用できる様に改善してほしい。
- ・ 児童館など、子どもが安心して過ごせる場所が少ないことに加え、既存の施設には狭い施設もあり、耐震面でも不安がある。

##### <不足している施設>

- ・ 夜間に利用可能な市民活動のための会議室や、学生のための学習スペース、スポーツ施設などは予約するのが難しく、数が足りていないと感じる。
- ・ 駅北や太田地域には背の高い公共施設がなく、災害時に避難できる場所が身近にないため、太田小学校については防災拠点として残してほしい。
- ・ 学童施設には定員をオーバーしているものもあり、駅北から駅南に通う児童も多いため、駅北にも新たな施設が必要ではないか。
- ・ 大学のキャンパス以外に、学生が集まったり夜遅くまで勉強ができる場があれば安心であり、地域との交流の機会も設けることができる。

##### <運営方法・使い勝手>

- ・ コミュニティセンター以外の会議室は、夜間は閉まっているが、こうしたスペースを開放せず使わせないのはもったいない。
- ・ 施設の使用目的を限定すると仕様や利用ルールの制限のため、他の目的での使用がしにくくなってしまふ。例えば文化会館では飲食を伴うイベントができず、他の施設を使わざるを得ない。
- ・ バリアフリー化されていない施設があり、高齢者や障がい者にとって使いにくい。2階に行くのにエレベーターがない施設もある。
- ・ 施設の内容や利用方法、また、施設再編後にどう変更されたかなどの情報が十分に周知されていないために、利用率が下がっているのではないか。

#### 公共施設に対する提案・要望

##### <望まれる機能>

- ・ 子どもと高齢者など異なる世代が交流できる場が少なくなったので、多世代交流のための施設がまちなかにあると良い。
- ・ 学生が気軽に立ち寄り溜まれ、まちの情報も発信できる場があると地域と接点が生じ、若い力をまちづくりに生かせるのでは。
- ・ 行政窓口で行う事務手続はコンビニでも済む時代であり、文化施設もイベント時のみに利用する場ではなくなった。日常的に人が集まり、そこから周辺地域に人が流れ活性化させるような公共施設がまちなかに必要だ。
- ・ 北区文化会館のような新しく広い建物には、防災機能を充実させてほしい。
- ・ 子育て中の母親が集まれる施設や、調理室の使える施設、レジャー施設、児童館、新しいコミュニティセンターなど、住民の生活の充実につながる施設があると良い。

## 公共施設についての地域の意見は… (2)

### 提案・要望、地域づくりの視点

#### 公共施設に対する提案・要望

##### <施設の統合>

- 公共施設が集約され、多機能化が図られれば、用件を一カ所で済ませられるなど、サービスが充実し便利になるので良い。
- 施設が集約されると施設が遠くなりアクセス面で不便になる地区も出てくるのではないかと。特に高齢者は車の運転ができなくなるので、歩いていける距離に施設がある方が良い。
- 似たような使われ方をしている施設が近接している場合には、統合しても良いのではないかと。例えば豊栄地区公民館と葛塚コミュニティセンターは、一元管理して業務を簡素化し、郷土博物館を他の展示施設と統合できる可能性があると思う。
- 施設の統合や廃止の際には、役割や機能のすみ分けを再整理し、必要な機能がなくなるよう、慎重に検討してほしい。

##### <新設区役所>

- 区役所を文化会館、公民館、図書館などがあるエリアに新設し、機能を集約化や施設間の相互連携が図られると良い。アクセスが不便になる地域が増える点については、交通サービスを充実させることで解決できるのではないかと。
- 文化会館や公民館、図書館などがあるエリアに区役所が移転すると、アクセスする車がさらに多くなるので、道路渋滞などの問題が出ないかと心配だ。
- 新しい区役所の敷地確保のために公民館やコミュニティセンターなどの既存施設が壊されてしまうことで、そこで行われてきた活動ができなくなるのではと心配だ。
- 新設区役所に葛塚コミュニティセンターの機能を入れれば、豊栄地区公民館と葛塚コミュニティセンターを行政側で一元管理できるし、コミュニティセンターの認知度も上がると思う。

##### <太田小学校跡地>

- 太田小学校は太田地区では一番高い3階建ての建物であり、水害時の避難所だったので、この建物がなくなってしまうと津波の時などにどこに逃げれば良いのか心配だ。太田小学校自体がなくなっても、建物は避難所として残してほしい。それが無理なら地区内の他の場所に避難所を確保してほしい。
- 太田小学校跡地利用についてこれまで積み重ねてきた議論を生かしつつ、実現化に向けた話し合いを更にしていきたい。運営方法も含め、早く市に方向性を示してほしい。
- 太田小学校の体育館は丈夫で、夜間は毎日のようにスポーツ系団体の利用者で賑わっているので、閉校後も残してほしい。

#### 地域づくりの視点

##### <財政負担を将来に残さない>

- 類似の機能を持った施設を統合して無駄をなくすことで、財政負担を軽減すれば良い。
- 年月が経てば、人口構成や住宅地の増加など状況が変化することを考えると、現状にだけあわせるのではなく、数十年後を見据えて計画することが重要だ。
- 託児施設などの現状で足りない施設を充実することは必要だが、新規に作るのではなく、既存施設を活用し、民間の力を導入すれば、財政面からもよいのではないかと。
- 財政コストを下げるために施設を再編することや、収益性を重視することが必要だというのは理解できるが、生活者にとって必須なサービスや、文化芸術から必要な施設は、収益性が無くても地域に残したい。

##### <公共サービスの充実>

- 地区外から人を呼び込むことよりも、葛塚地区の様々な世代の住民のために公共施設を充実させることを第一に考えるべきだ。
- 財源が限られているのであれば、子どもや子育て世代のためのサービスに予算を割き、この地区の子育て世帯や将来人口の増加を図るべきだ。
- 多くの学生や若い人が利用するような賑わい拠点があれば、地区内に住む若い世代が増え、まちを維持していけるのではないかと。
- 子どもや若者と高齢者が交流する場ができれば、双方にとって良い効果があると思う。
- スポーツ施設のアクセスを向上し、飲食等ができるように整備すれば、健康維持のために施設を利用する高齢者が増え、地域の活性化に寄与すると思う。

##### <地域のまとまり・中心性>

- 中心部にコンパクトに施設を集中させた方が、建物の維持管理や管理のための人材コストなどが下がり、効率的に維持運営ができるのではないかと。
- 中心にあっても良い施設と身近に欲しい施設があるので、施設の種類によって集中型と分散型とを分けて考えてはどうか。避難所、地域コミュニティのための集会所やスポーツの場、高齢者や子どものための施設などは身近に配置してほしい。

##### <地域活性化>

- 現状では地域活性化に資するような施設がこの地域にないので、イベントなどが開催できる核施設をつくり活性化に結び付けたい。
- ボランティア活動を継続しておこなえる拠点施設があれば、こうした活動を通じて地域の活性化ができるのではないかと。
- 市内の他の地区にないから作れないという発想ではなく、他の地区にない独自性のある施設こそ作るべきではないかと。

##### <負担の公平性やバランス>

- 公共施設が集中している場所から既存の施設を減らしても、防災施設など不可欠な施設が不足している地域には施設をつくるべきだ。
- 地区内の施設配置は、様々な世代にとって利用しやすく利便性が確保できるように考えることが重要だ。
- 中学校区は基本的に歩ける範囲なので、その単位で施設配置を考えるのなら、駅の南北でバランスを取ることにこだわらなくても良いのではないかと。

##### <効率性>

- 会議室など夜間に使えない施設が多く、効率性の点から見てもつたいない。
- 公共施設の再編では、財政面や採算性だけでなく、葛塚地区にはどんなサービスが必要かについてまずは考え、地域の思いや歴史的背景も考慮した上で整理すべきだと思う。

##### <利便性>

- 葛塚地区内の利用だけでなく、北区全体や区外から来る人達の利便性にも配慮が必要だと思う。

##### <追加すべき地域づくりの視点>

- 潟東の事例として示されている地域づくりの視点は、葛塚にも当てはまる。欠けているものがあるとは思わない。
- 避難所の整備は地区にとって大きな課題であり、地域づくりの視点としても「安心・安全の確保」が重要な要素ではないかと。



## 公共施設についての地域の意見は… (3)

### どのような対策を講じるべきでしょうか？

#### 課題解決の諸方策

##### <複合化・多機能化>

- 公共施設を複合化・多機能化することでワンストップでのサービスを提供することができる様になり、利便性が向上すると思う。
- 新区役所にコミュニティセンター、文化会館、さわやか健康センターなどの機能を複合すれば、様々なサービスを一カ所で受けられるので利便性が高まる。
- 様々な手続きが別々の窓口で行われると手間と時間がかかるので、行政窓口を集約化してほしい。
- 公共施設と商業施設が集約されていれば、買い物ついでにイベントに参加することなどができて利便性が高まる。
- 市民活動に使えるスペースが足りない状況なので、複合化や多機能化によって使えるスペースが増えると良い。
- コミュニティセンターに託児機能を複合するなど、子育て層が使いやすくなるように施設を整備できたら助かる。
- 利用率が低い博物館などの施設も、違う目的の施設と多機能化すれば、ついでに立ち寄ることができ、利用が増えるのではないかな。
- 昼は空いているが夜は混んでいる施設と昼は混んでいるが夜は空いている施設の利用を調整するように工夫すれば、スペースの利用に無駄がなくなる。
- 施設の再編に伴って多目的スペースを整備することができたら、地域に足りない子どもの居場所や学生のための勉強の場が確保でき、空き時間のない有効なスペース活用も可能になるのではないかな。

##### <施設の統合>

- 郷土博物館は類似しているビュー福島潟や学習効果が期待できる児童館などの他施設と統合することで、利用者を増やすことができるのではないかな。
- 豊栄地区公民館と葛塚コミュニティセンター、児童館と児童センター、さわやか老人福祉センターと健康センターなどの機能や役割が近い施設は統合して、利用率アップや財政負担の軽減を図ってはどうかな。
- 類似施設を統合した際に空いた土地は、売却すれば収入につながる。

##### <利用料収入>

- 利用率が低い施設は利用率を上げる企画を考え、利用料金が取れる施設からは値上げしてでもしっかりお金を取るようにして、稼げる公共施設にしていく必要があるのではないかな。
- 価格に見合う価値がないと使わないので、類似施設との違いを明確にアピールしたり、高い料金を払ってでも使いたいと思える魅力のある施設にする必要がある。
- 行政サービスによっては無料で提供すべきものもある。

##### <民間活力>

- 公共で新たな施設をつくることを止めて、既存施設の活用や民間活力の導入などの知恵をつかって、地区に足りない機能を補う方策を考える必要がある。
- 高齢者をまちの中心に集めて、住んでもらい、移動しやすい環境と行政サービスを効果的に提供していくという考え方があるが、コスト面などから公共だけでは実現が難しそうなので民間の力を使ってやってはどうかな。
- 新潟医療福祉大学の様々な学部力を借りて、幅広い世代を対象にした魅力ある企画を一緒に行ったり、サテライトキャンパスを地区中心に設置して学生と地域との接点を作るなどの連携ができると活性化につながる。

- 災害時の身近な避難場所が少ない地区では、保育園や病院などの民間の運営する施設との連携を深め、いざという時に避難所として使えるようにできるのではないかな。民間活力も導入して避難所対策を強化したい。

##### <拠点施設>

- 立派なものなくても良いので1,000人規模のイベントを開催できる多目的スペースがあるとよい。そのスペースを核として周囲に土産物屋や飲食店があり、人が流れる様になれば地域にお金を落とす仕組みができる。
- ボランティアや市民活動のための拠点となる施設、市民活動センターのようなものがあると、そこで交流が生まれ、つながりができて活動の発展にもつながる。

##### <使い方・運営>

- 特定の年齢の利用者しか使えない、特定の用途にしか使えないというルールを緩和し、多様な世代が様々な目的で使えるようにすることで、利用度が上がり、世代間交流の機会も生まれる施設になるのではないかな。
- コミュニティセンターのうち需要のある施設は開館時間を延長することも必要だ。
- 利用者の要望を聞きながら、利用時間帯や休館日を柔軟に設定して欲しい。
- 公共施設全般で高齢者や障がい者の使いやすさを考えた部屋の再配置を検討してはどうか。例えば足の悪い高齢者や障がい者の利用が多く想定されるスペースは1階にすれば、利便性を高めることが出来ると思う。
- 夜間に開館するのに新たに人を雇う必要があるのなら、利用する団体がボランティアで管理をしても良いのではないかな。

##### <公共交通サービス>

- 施設の再編を行って中心部に施設が集中した場合には、そのために公共施設へのアクセスが不便になった地区の足を確保する策を同時に検討する必要がある。
- 車を運転できない高齢者や障がい者、学生などの利便性や安全性を考えると、公共交通の整備は不可欠。主要な公共施設間を結ぶ循環ルートや買い物などの日常の用事も済ませられるルートなど利用しやすい経路を考え、本数も確保してほしい。
- コミュニティバスを通すのには相当お金がかかるので、本当に必要かを慎重に考えるべきではないかな。病院や福祉施設などが走らせているバスに同乗できるなどの連携を図ることも検討してはどうか。
- 多くの人が車でアクセスせざるをえない状況を見ると、いずれの公共施設でも十分な駐車場の整備が必要だ。

##### <ソフト策>

- 新たに施設を作ったり統合したからといって利用率が上がるわけではないので、だれがどう運営していくかが重要になる。既存施設の利用率を上げるためにも、魅力的な企画やサービスを提供することが大切だ。
- 場所がないから運営する人が出てこないという面もあるのではないかな。場ができればそこを使って何かしようという動きが出てくると思うので、まず場を整えることも大切だ。
- 地域ごとの行事やお祭りの復活や商店街の空き店舗を活用した手作り弁当の提供など、高齢者と若者、地域と大学生とのつながりを深めるためのソフト策を検討してはどうか。
- 利用率を上げるには施設の持つ機能や利用方法の情報をもっと地域内で共有できる工夫が必要だ。
- 学生には公共施設の情報が入ってこないのでは行くきっかけがない。若者への情報提供手段としてはSNSなどを使うと良い。



## 公共施設についての地域の意見は…（４）

課題が解決されることで、どうなることが大切ですか？

課題	課題解決の狙い	課題解決の諸方策と施設配置の方向性(アイデア)	期待する効果
負担の公平性やバランス	①過度な財政負担が将来世代に残らない	複合化・多機能化などで規模(面積)を減らす 利用料などで収入を確保する、コストを削減する 商業施設を誘致して収入を得る 使われていない空間を共有して稼働を高める 統合や移転の結果、空いた土地や建物を売却・貸付する …	維持管理コストが減る 維持管理更新の財源捻出 雇用創出
利用しにくい施設や低未利用の施設がある	②空いた土地や既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る	空いた建物に不足している機能を誘致する 複合化によるワンストップサービスを実現する 統合や移転の結果、空いた土地や建物を売却・貸付する より利便性が高いところへ移転する 新規整備に際し、現代のニーズに合った機能を設ける アクセス性の向上(交通利便性の向上) 民間活力の導入を図る …	建物有効利用が図れる 使い勝手の向上 売却の収入や賃借料が得られる
子育て支援施設の充実が必要	③子育ての環境を整え地域の魅力を高める	子育て支援機能など現在のニーズに合った機能を設ける 子どもの居場所を確保する 多世代交流や地域ぐるみで子育てを支援する機能を設ける …	子育て世代の人口増加を図る 子育てを地域でサポート 多世代交流が生まれる
若者が集う場所、活動できるスペースが少ない	④若者の居場所をつくり地域を活性化させる	若者や学生が集まれる、学べる場所を設ける 多世代交流が図れる機能を設ける サテライトキャンパスで若者を呼び込む …	若者の居場所がある 若者の人口流出を防ぐ
地域活性化に資する施設がない	⑤地域のまとまり一体感を形成する	地域の人々が集まる拠点施設を新設する 施設の配置を集積させ、地域の中心部をつくる 各コミュニティ単位で気軽に使える機能を設ける これまで施設がなかった地区に施設を設ける …	市街地の活性化 にぎわいの創出
災害時の避難に不安がある	⑥災害に強く安全な地域をつくる	避難所機能を適切に確保する …	安心・安全な地域をつくる

これらの課題解決のためのアイデアなどを参考に以降のパネルにある複数の対策案を作成しました。  
みなさんのご意見をお寄せください！



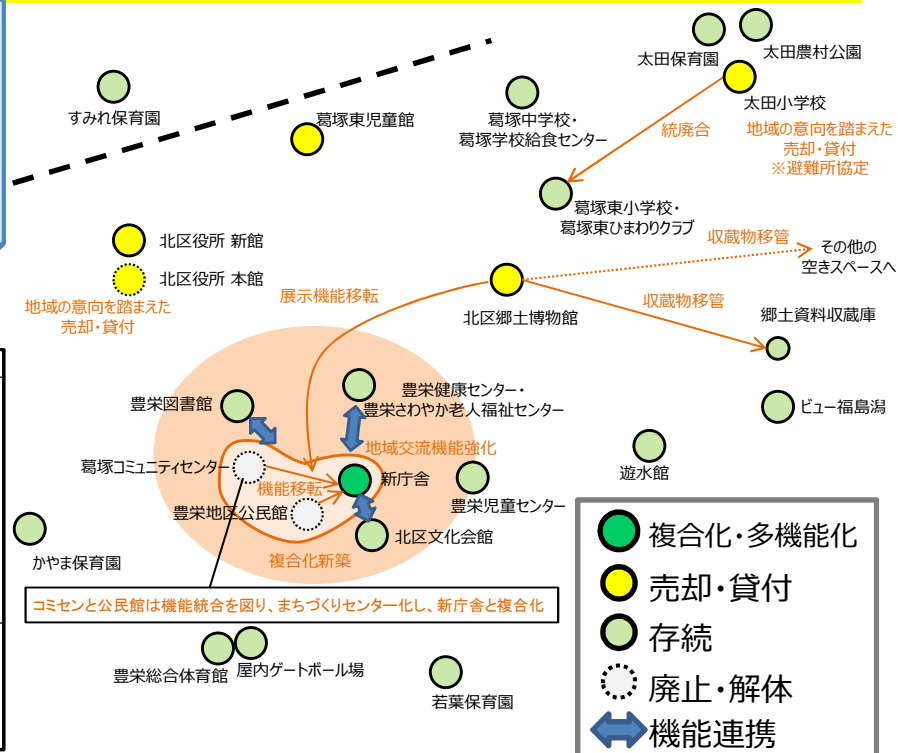
# 4. 公共施設の将来のあり方(対策案) ※事務局が議論のために仮設定した案

これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

## A案

### 新庁舎を中心としたコミュニティ拠点の形成(類似施設の集約)

- 類似施設を集約、多機能化・複合化し、利便性や使いやすさの向上を図る。
- 新庁舎に公民館、コミュニティセンターを「まちづくりセンター」として複合化して建設
- 多世代が一体となって集まる交流拠点を形成
- 太田小は民間活力を利用した活用

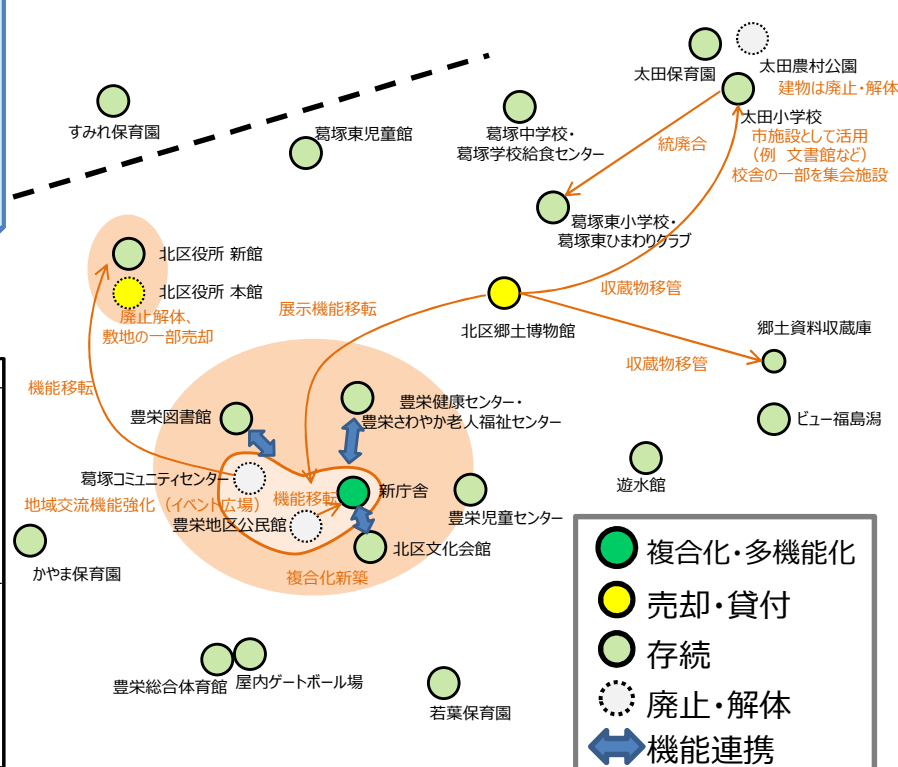


案の概要	
<b>【特徴(長所)】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政サービス機能と地域活動を担う機能が新庁舎に効率よく集積される。</li> <li>● 新庁舎にフリースペースや若者、学生の学習スペースを設け、多世代交流を図る。</li> <li>● まちづくりセンター機能と博物館の展示機能が新庁舎に複合化され、文化会館、図書館や健康センターとの連携により、一か所に多様なサービス機能を集約でき、相乗効果が期待できる。</li> <li>● 現区役所と太田小学校は地域意向を踏まえた売却・貸付により、民間活力による地域活性化を図る。(事業者との協定により避難所機能を確保)</li> </ul>
<b>【課題】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複合化した新庁舎の規模が大きくなるため初期整備費はかさむ。</li> <li>● コミセンと公民館を統合するため運用面で整理が必要。</li> <li>● 現区役所と太田小学校の廃止後の活用は地元意向に沿った事業者を探す必要がある。</li> </ul>

## B案

### 中学校区の均衡ある発展(新庁舎基本構想検討会議の意見を含む)

- 地域にまんべんなくコミュニティの拠点をつくる。
- 現区役所新館をコミュニティセンターに転用して有効活用を図る。
- 新庁舎に公民館を複合化して建設
- 太田小は市施設とし、一部に集会施設機能を移転

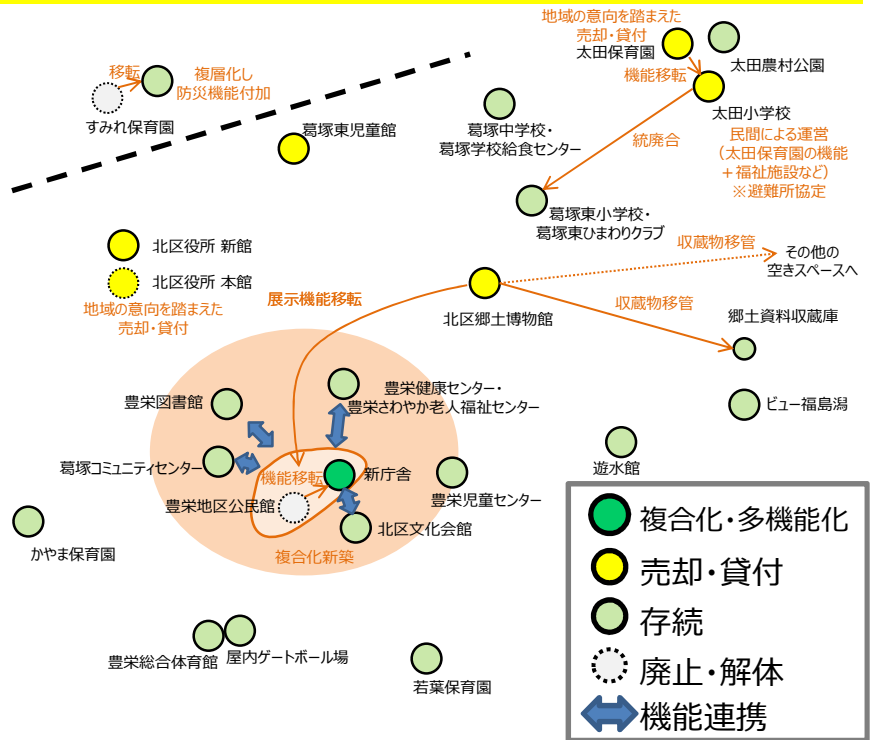


案の概要	
<b>【特徴(長所)】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現区役所新館にコミュニティセンターを移転し、フリースペースや若者、学生の学習スペースを設け、多世代交流を図る。</li> <li>● 公民館機能と博物館の展示機能が新庁舎に複合化され、文化会館、図書館や健康センターとの連携により、一か所に多様なサービス機能を集約でき、相乗効果が期待できる。</li> <li>● 太田小学校は文書館や博物館の収蔵機能を有する施設として引き続き市が保有し、一部に地域集会機能を設ける。(避難所機能を確保)</li> </ul>
<b>【課題】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現区役所新館をコミセンに転用するためのコストが生じる。</li> <li>● コミュニティ拠点(コミセン機能と公民館機能)が新庁舎と現区役所新館に分かれる。貸館の使いにくさや管理面の課題が残る可能性あり。</li> <li>● 貸館業務の運用面での業務効率が悪くなる可能性がある。</li> <li>● 現区役所跡地の売却が一部分に限られ、現区役所新館を市が引き続き保有するため、その後の維持更新コストが生じる。</li> </ul>



# C案 子育て支援の充実による人口減少対策

- 保育機能を充実させ、安心して子育てしやすい環境をつくり、若年代の定住を促す。
- すみれ保育園の環境改善
- 新庁舎に公民館を複合化して建設
- 太田小は民間活力を利用した活用(保育園+福祉施設)
- 避難所機能を確保



案の概要

【特徴(長所)】

- 老朽化したすみれ保育園の環境改善を図る。(避難所機能を強化)
- 太田小学校に民間保育園+福祉施設を誘致し、福祉機能の拡充を図る。(事業者との協定により避難所機能を確保)
- 公民館機能と博物館の展示機能が新庁舎に複合化され、コミュニティセンター、文化会館、図書館や健康センターとの連携により、一か所に多様なサービス機能を集約でき、相乗効果が期待できる。

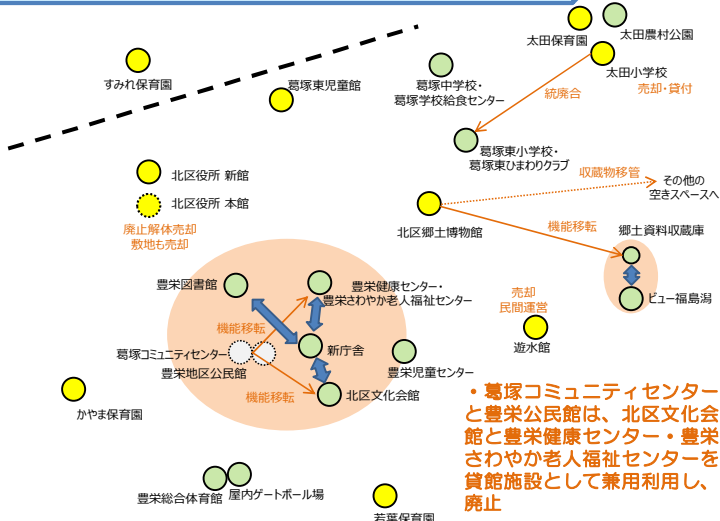
【課題】

- すみれ保育園を更新するために多額のコストが生じる。(新規敷地購入もしくは隣接公園と用地交換)
- 太田小学校の廃止後の活用は地元意向に沿った事業者を探す必要がある。
- コミセンの設備面など使い勝手の課題はそのままとなる可能性あり。
- 類似の貸館施設が重複する。

## 物差案① 財政的効率化案

(行政コストの縮減と効率化を重視した案)

- 新庁舎以外は市で新たな施設整備は行わず維持のための改修のみ
- 現区役所と太田小学校は売却・貸付
- 遊水館は売却・民営化し、博物館は郷土資料収蔵庫やビュー福島潟などへ機能移転
- 将来的に保育園は民間施設で保育需要を吸収し、廃園(民間保育園に移行)



案の概要

【特徴(長所)】

- 大幅なコスト削減を実現でき、市民の負担が軽減される。

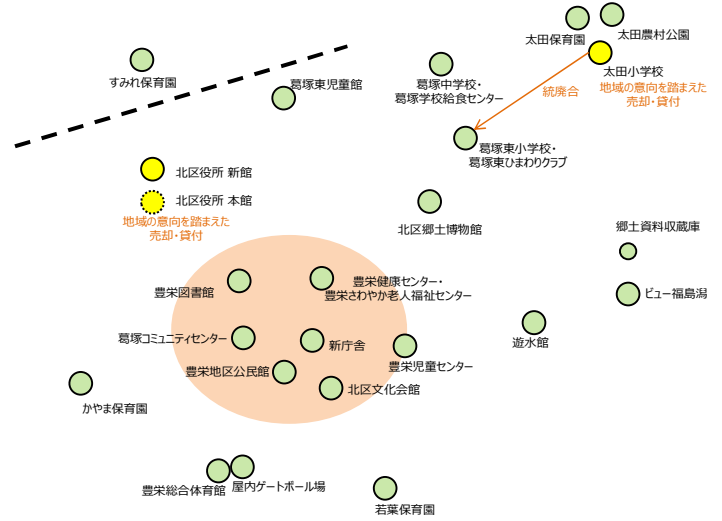
【課題】

- 地域コミュニティの活動や余暇活動の在り方に影響が大きい。

## 物差案② 現状維持案

(特に対策をせず、現状のままとする案)

- 新庁舎以外は市で新たな施設整備は行わず維持のための改修のみ
- 現区役所と太田小学校は売却・貸付



案の概要

【特徴(長所)】

- 既に建替えが決定している現区役所、統合が予定されている太田小学校以外の施設は、現状の配置・機能が当面の間は継続される。

【課題】

- 課題解決の狙いの達成に寄与できない。
- コストを削減できない。

# 葛塚地域の公共施設 望ましい将来の姿とは

**地域のみなさんも一緒に考えましょう！**

- 将来世代の財政負担を軽減していくことと、地域に必要な公共サービスを維持・改善していくことを両立していくためには、公共施設の整備と運営をどう効率化していくべきか？
- にぎわい創出や多世代の交流の場づくりなど、地域が一体となって活性化していくために公共施設にどのような役割をもたせていくべきか？
- 使われなくなった庁舎、廃校となる小学校など、施設の役割の変化に対して、その施設をどう活用していけばよいか？

など

**さまざまなコミュニケーションの機会を設けています**

## ワークショップ

参加者は、コミュニティ活動をしている人や、公共施設利用団体、PTA、公募の方などで構成されています。  
平成28年10月から、これまで3回開催され次回は平成29年1月に開催予定です。



## 広報紙 (ニューズレター)

ワークショップや、市の検討の状況を、地域の皆様にお伝えするための広報紙です。  
平成28年12月に第1号を発行し、地域に全戸配布しました。  
今後も適宜発行していきます。



## パネル展示型説明会 (オープンハウス)

検討の状況をまとめたパネル展示を地域の皆様にご覧いただき、職員が皆様のご意見を伺ったり、ご質問に答えたりします。



これまでの議論や、皆様から寄せられたご意見などをふまえ、対策案の修正案を作成します！



## ご意見・お問い合わせ先

みなさんのご意見をお寄せください！

地域別実行計画コミュニケーション事務局  
(新潟市財務部財産活用課内)  
〒951-8131新潟市中央区白山浦1丁目613番地69  
新潟市開発公社会館2階  
TEL: 025-226-2387 FAX: 025-230-5151  
E-mail: zaisan@city.niigata.lg.jp